

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 主要地方道 西城比和線設計地質調査業務委託（道路改良・単独）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 道路 構造物基礎

ボーリング名	R5-B-1	調査位置	広島県庄原市西城町大屋黒谷上			北緯	34° 58' 23.8397"			
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			調査期間	2023年 6月 1日 ~ 2023年 6月 2日		東経	133° 03' 21.8901"		
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者				
孔口標高	T.P. 663.54m	角	180° 上下 90° 0°		方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 25°	
総削孔長	8.00m	使用機種	試錘機 YBM-05DA-2		エンジン	ヤンマー-NFD10		ポンプ	YBM GP-5	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試験採取番号	室原位置試験	削孔月日	
												深度-N値図								深
												N	深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量			
1				有機質土		暗黒灰		rc1		黒ボク。全体的に軟質である。径20~50mm程度の亜角礫を不規則に混入。深度0.90~1.00m間、安山岩質の亜角礫密集。深度1.00~1.10m間、安山岩質の硬質玉石。深度1.90~2.00m間、花崗斑岩質の硬質玉石。	06/01 5.50	1.15	1	1	2	1.15	P1-1	○	粒度, 密度, 含水比	
2	661.44	2.10									06/02 6.30	2.15	1	2	2.15	P1-2	○	粒度, 密度, 含水比		
3				粘土質砂		褐灰		rd1		均質な細砂。全体的に粘土分を多く含有する。全体的に非常に緩い。主に細砂主体であるが、深度によっては粘土分が優勢な深度もあり。		2.65	1	1	2	2.65	P1-3	○	粒度, 密度, 含水比	
4												3.15	1	1	2	3.15	P1-4	○	粒度, 密度, 含水比	
5	658.64	4.90		粘土混じり砂		褐青灰		rd2		中砂~粗砂。深度増すにつれ糝分増加する。糝は径20~50mm程度で主に安山岩質。孔内水位は6/1, 6/2ともにG1-5.50m。	06/02 6.30	3.45	1	2	5	3.45	P1-5	○	粒度, 密度, 含水比	
6	657.24	6.30		風化安山岩		暗青灰				基盤の風化安山岩。軟岩口。主に礫状~岩片状で採取される。コアは比較的新鮮でハンマー打撃で高い金属音がする。亀裂面は参加を認める。全体的に石英の細脈あり。		4.15	1	1	1	4.15	P1-6	○	粒度, 密度, 含水比	6/1
7				安山岩						基盤の安山岩。中硬岩。Cl級相当。主に岩片状~棒状で採取。コアは比較的新鮮でハンマー打撃で高い金属音がする。亀裂面は酸化を認める。全体的に石英細脈あり。		5.45	1	2	5	5.45	P1-7	○	粒度, 密度, 含水比	6/2
8	655.54	8.00										6.00	0	0	0	6.00	P1-8	○		